

■炭谷小梅 芸者から愛人を経て、受洗、伝道に奔走しながら、石井十次の事業に協力し"岡山孤児院の母"に。

すみやこうめ

国定忠治磔・1850 = 備前国岡山城下に生れる。父は城下の薬師院の執事。

ペリー来航・1853 = 3歳：早く両親と死別、祖母とともに叔父に養われる。

安政大地震・1855 = 5歳：この頃から、踊り・三味線を習い、

安政の大獄・1859 = 9歳：

桜田門外変・1860 = 10歳：

大政奉還・・1867 = 17歳：この頃には、弟子をもつ師匠となる。

明治維新・・1868 = 18歳：維新後、

生活のため芸者となり、

明治6年政変 1873 = 23歳：

初の民間工場1875 = 25歳：岡山にキリスト教が入った時、自宅で説教会を開くなど布教に積極的だった岡山県課長中川横太郎の愛人となり、妻と同居の中で、

西南戦争・・1877 = 27歳：1女トヨをもうける。キリスト教を深く知りたいと、

大久保暗殺・1878 = 28歳：神戸のガールズスクール(神戸英和女学校)に入学するが、中川に呼び戻され、自立を望んだ小梅は、金森通倫らの指導をうけ、子供を置いて中川家を出た。

明治14年政変1881 = 31歳：中川の妻とともに受洗。神戸女子神学校で訓練をうけ、宣教師夫人に雇われ伝道に従事。

新体詩抄・・1882 = 32歳：*岡山女子懇談会が発足するとただちに入会し、

岩倉具視没・1883 = 33歳：国清寺での演説会で「谷間の桜」と題して講話をした。

秩父事件・・1884 = 34歳：宮崎から医学生として岡山に来た石井十次が洗礼を受ける場において、以後親交を結び、

帝国大学始・1886 = 36歳：*石井が開設した{岡山孤児院}を支援する一方、西中山下に婦人英学舎を開設、岡山教会の宣教師らの協力を得て経営、

帝国憲法発布1889 = 39歳：

帝国議会始・1890 = 40歳：この頃、廃校となるが、

以後も、石井十次の孤児院事業に協力して、"岡山孤児院の母"と呼ばれた。また婦人伝道師として全国を奔走して、

日清戦争始・1894 = 44歳：

日清戦争終・1895 = 45歳：

日露戦争始・1904 = 54歳：

日露戦争終・1905 = 55歳：

明治天皇没・1912 = 62歳：

大正政変・・1913 = 63歳：

大暴落・・・1920 = 70歳：_没した。